

きりゅう 市議会だより



おいしいお餅にな～れ

平成28年第4回定例会は、11月30日(水)に招集され、12月21日(水)までの22日間の会期で開かれました。

この定例会では、市長提出議案など28件の審議を行い、それぞれ可決、同意又は異議ない旨回答することに決定しました。

主な掲載記事

- 一般質問…………… 2～5
- 委員会提出議案・ホームページに政務活動費(収支報告書)及び行政視察報告書を公開・経済建設委員会による提言書…5
- 議案と結果…………… 6
- 主な議案・請願の審査結果・人事案件………… 7
- 決議・子ども議会…………… 8

一般質問

質 問 者	渡田工周	伏見	山之内	北関	辻人	河原	福飯岡	久保田	周東	恒一人	忠英	渡島	辺島	渡田	恒一人	恒一人	恒一人
	新園	木田	之内	川口	正武	井賢	島英	部純	裕照	彦夫	雅達	藤井	藤井	工周	一人	一人	一人
	園	田	内	口	武	賢	英	純	裕	博	基	田	田	周	人	人	人
	伏	木	内	口	武	賢	英	純	裕	博	基	田	田	周	人	人	人
	山	木	内	口	武	賢	英	純	裕	博	基	田	田	周	人	人	人
	之	木	内	口	武	賢	英	純	裕	博	基	田	田	周	人	人	人
	内	木	内	口	武	賢	英	純	裕	博	基	田	田	周	人	人	人
	川	木	内	口	武	賢	英	純	裕	博	基	田	田	周	人	人	人
	口	木	内	口	武	賢	英	純	裕	博	基	田	田	周	人	人	人
	正	木	内	口	武	賢	英	純	裕	博	基	田	田	周	人	人	人
	武	木	内	口	武	賢	英	純	裕	博	基	田	田	周	人	人	人
	賢	木	内	口	武	賢	英	純	裕	博	基	田	田	周	人	人	人
	島	木	内	口	武	賢	英	純	裕	博	基	田	田	周	人	人	人
	英	木	内	口	武	賢	英	純	裕	博	基	田	田	周	人	人	人
	純	木	内	口	武	賢	英	純	裕	博	基	田	田	周	人	人	人
	裕	木	内	口	武	賢	英	純	裕	博	基	田	田	周	人	人	人
	照	木	内	口	武	賢	英	純	裕	博	基	田	田	周	人	人	人

※氏名の後のカッコ内は所属党派名

12月20日(火)・21日(水)の2日間にわたり、18人の議員が一般質問を行い、市政に関する問題について、市当局の見解を求めました。

給付制奨学金

渡田 恒 (日本共産党議員団)

質問 全国では学生を始めとした若者による給付制奨学金の創設を求める動きがある中、桐生市においても、市長に284人の署名を添えた陳情書が提出された。これをどのように受け止めるか。

答弁 若い人たちの声として、大変重く受け止めている。学生が安心して学べ、夢と希望が持てるような奨学金制度ということで、給付

型だけでなく、使いやすい奨学金制度というものを視野に入れながら、桐生ならではの制度として総合的に検討していきたい。
(奨学金奨学生募集要項)



無料入浴券の拡充

工藤 英人 (創志会)

質問 現在、ひとり暮らしで65歳以上の高齢者に月(高齢者無料入浴利用券)



3枚年間36枚の無料入浴券を交付しているが、この券の利用者が増えれば、高齢者が外出することで元気になることも銭湯にとっても利用者が増え、市内銭湯の継続経営につながると考える。この事業をより充実させ拡大することについて市の見解は。

答弁 今後、民生委員、地域包括支援センター等による広報活動や広報きりゅうなどを用いてより多くのひとり暮らし高齢者の方の利用を促進し、生きがいの増進を図っていききたい。

ゾーン30

田島 忠一 (いちご)

質問 ゾーン30はどのような経緯で実施されてきた事業なのか。

答弁 警察庁が新たな生活道路対策として全国的に推進しているもので、生活道路や通学路における事故を防止するため、歩行者の通行を最優先に考え、指定した区域内の生活道路を最高速度30キロに規制し、また路面標示や路側帯の設置、拡幅等を行い、交通安全対策を講じて事故を減らす事



(ゾーン30)

業である。今後も群馬県警察本部、桐生警察署等関係機関と連携して生活道路における「ゾーン30」対策の更なる推進に努めたい。

市役所の職場環境

周藤 雅彦 (クラブ21)

質問 職員が健康で働けることは、より良い桐生市を作るうえで重要なことの一つと考えているが、現在職員が健康に働けているのか。

仕事をすることは社会人として基本であり、引き続き、職員への指導・徹底を図るとともに、より良い職場環境づくりに努めたい。
(桐生市役所)

答弁 市長から「いい仕事をするためには、職員は常日頃から健康に留意し、明るく元気であることが大事である。」との指示があり、職員はこの指導を念頭に仕事に取り組んでいる。心身ともに健康で明るく元気に



ふるさと桐生応援寄附金

新井 達夫(桐政会)

質問 市ホームページに掲載されているふるさと桐生応援寄附金の活用方法について、より具体的に寄附金の使途を示したほうが良いと考えるが、市の見解は。

答弁 現在の寄附金活用メニューは、やや抽象的な表現で示しており、実際にどのような事業に活用されるのかが分かりづらい面がある。当市が実施する事業への賛同者を増やし、寄附者の増加につなげていくた

めには、事業を具体的に明示して寄附を募るという手法が有効であると考えており、新年度の寄附金募集に向けて方策を検討している。(市ホームページ)



市役所周辺の回遊性向上

園田 基博(創志会)

質問 市役所周辺は厚生病院や立体駐車場、シルク



(市役所周辺)

ホールがあり、集約拠点として非常に大切と思うが、人口減少、高齢化社会に対応した、歩いて暮らせるまちづくりの観点から、今後どのように進めていくのか。

答弁 市役所周辺の整備は、市民文化会館建設に伴い、周辺道路や歩道整備、電線類地中化などを実施した。その後、押しボタン式の横断歩道の新設など、一定の整備が完了している。今後、やさしいまちづくりの視点を踏まえ、利便性や安全性の向上について、総合的な観点から研究する。

新桐生駅のバリアフリー化

山之内 肇(公明クラブ)

質問 市内で東京に直結している路線の玄関口とも(新桐生駅)



言える新桐生駅のバリアフリー化は、市民たつての願いであり、観光誘客の面からも喫緊の課題である。具体的には駅構内のエレベーター設置が必要と考えるが、実現に向けた市の取り組みは。

答弁 現在、県と連携し駅周辺整備事業に取り組んでいるが、駅構内のエレベーター設置については、駅前広場に合わせた一体的に整備できるように東武鉄道などと協議を行っている。今後も設置できるように関係機関と調整を図っていきたい。

高齢者の自動車事故防止

北川 久人(創志会)

質問 高齢者のブレーキとアクセルの踏み間違えによる事故を防止するため、衝突被害軽減ブレーキシステム搭載車の購入補助金を導入する必要があると考えるが、市の見解は。

答弁 現在、国ではトラックやバスについて衝突被害軽減ブレーキの搭載が義務化され、減税も行われており、さらには乗用車への拡充も検討されている。当市においては、今後の国の

(交通量の多い道路)



動向や群馬県及び県内他市の状況なども確認しながら、市の交通政策全般において多面的に検討しなければならぬと考えている。

自治会制度

伏木 康雄(市民の風)

質問 来年で自治会制度となつて10年目を迎えるが、(桐生市役所)



制度改正に対して強く新しいメッセージを市民の皆様が発する準備はあるか。

答弁 自治会制度に移行し来年で10年目を迎え、その間様々な課題を抱える中で自治組織を運営されてきた役員や地域の皆様に敬意を表し感謝する。自治組織はそれぞれの地域に暮らす人々が幸せに暮らしていくために必要不可欠な地域共同体であるので、今後も市民の声を大切にし、自治組織の自主・自立性の確立に向けて市としてふさわしい支援のあり方を検討したい。

福祉用具利用状況

関口 直久(日本共産党議員団)

質問 要支援1から要介護2までの福祉用具の利用状況は。

答弁 福祉用具貸与の車椅子、介護ベッド、住宅改修の平成27年度における要支援1から要介護2までの利用実績の実人員は、要支援1の車椅子は6人、介護ベッドは8人、住宅改修は114人、要支援2の車椅子は16人、介護ベッドは12人、住宅改修は86人、要介護1の車椅子は53人、介護

ベッドは69人、住宅改修は139人、要介護2の車椅子は240人、介護ベッドは463人、住宅改修は88人という状況となっている。(車椅子)



中央共同調理場の改築

辻 正男(いちご)

質問 中央共同調理場は築47年が経過しており、平成22年度事業仕分けにおいても改善となつている。その事を踏まえ、改築についての考えは。

答弁 事業仕分けの結果を受け、庁内検討委員会を立ち上げ、改築について検討を行ったが、具体的な建設候補地や事業手法などは結論に至らなかった。

現在、調理場の改築計画について、これまでの検討

の結果や成果、経緯を踏まえ、近年整備した他自治体の調理場施設の状況や、整備方法、運営方法等を参考に検討している。

(学校給食中央共同調理場)



キッズバレイ

人見 武男(創志舎)

質問 今後の展開と自立化の見通しは。

(東武桐生本町ビル)



答弁 今後は女性の力を生かした創業を一層推進するとともに、在宅就労支援などにより新たな形での仕事創出を図っており、当局としても積極的に支援していきたい。また創業支援活動で創出した創業者にインキュベーションオフィスで専門家が指導し企業成長を支援するなど、創業支援の核である東武桐生本町ビル全体の連携を強化していきたい。また自立化に向けて収益性の見込みのある事業の育成などの取り組みを支援していきたい。

ごみ減量の効果について

河原井 始(クラブエ)

質問 介護保険料の減額やごみ減量は、市民の総力

(桐生市役所)



を結集すればできると考える。例えば、ごみ排出量を100とした場合、市民の力で10%削減できれば、削減分を市民の力によるものと評価し、削減できたことにより得た費用を介護保険料の増加分に充当して上げ幅を抑えるといったごみ減量の効果による費用で介護保険料の上昇を抑制することについて市の見解は。

答弁 今後十分研究する必要があるが、実現すれば市民との協働によるまちづくりを進める上で意義深いものと認識している。

白瀧神社の観光情報発信

福島 賢一(桐政舎)

質問 白瀧神社の観光情報を更に発信し、神社周辺

(白瀧神社)



のインフラを整備することで、地域の活性化、にぎわい創出といった相乗効果が期待できると思うが、市長の見解を伺いたい。

答弁 織物のまち桐生を語るには白瀧神社、白瀧姫は欠くことのできない重要な観光、歴史資源であると認識しており、ぐんまちゃん家、サロン・ド・Gなどで桐生を宣伝するときには

白瀧神社の観光情報も発信している。また、インフラ整備については、これから現場の状況を見ながら積極的に整備していきたい。

産業廃棄物最終処分場問題

飯島 英規(市民の風)

質問 城の岡団地周辺の産業廃棄物最終処分場の異

臭は、暑い時期の夜間など、臭気が家の中に入ってくる事態が続いている。市として住民の気持ちと寄り添うという視点で、定期的に対話をしていたいただきたいと考えるが、市長の考えは。

答弁 住民の方々から直接お聞きし、状況の深刻さと早急に解決しなければならぬという必要性を感じている。住民との対話

(桐生市役所)



についても、必要があれば随時行いたい。また、担当部局には、しっかりと住民に寄り添うようにという指示も出したい。

空き家解体費補助制度

岡部 純朗(桐政舎)

質問 空き家を解体する費用に対し、補助金を支給

する考えは。

答弁 老朽化した空き家の解消に向けた対応としては、日々、所有者に適正な管理をお願いしている。

しかし、どうしても改善が進まない空き家もあり、解体費に対する補助制度が特に管理不全空き家の解消を促進するための有効な施策の一つと考えられることから、国や県に対し、解体

費補助制度について、強く要望している。今後、国や県の動向、他自治体の状況などを見据えながら補助金の制度について検討したい。

(市内の空き家)



桐生市ホームページに「政務活動費(収支報告書)」及び「行政視察報告書」を公開

平成12年の地方自治法改正による政務活動費(当初は政務調査費。平成25年に改称)制度創設以来、桐生市議会では、その透明性の確保と適正な運用に努めてきておりますが、さらにその透明性を高めるため、政務活動費の収支報告書をホームページで公開することになりました。

また、3常任委員会、2特別委員会及び議会運営委員会が行った行政視察についても、それぞれの行政視察報告書をホームページで公開することになりました。桐生市議会22人の議会活動をぜひご覧ください。



第24期桐生市議会議員

経済建設委員会による提言書の提出

経済建設委員会は、桐生商工会議所から要望を受けた19項目の1つである「桐生市住宅取得応援事業の継続」について、平成28年7月27日から平成28年10月28日までの間に合計11回の委員会等を開催し議論した結果、「桐生市住宅取得応援事業の継続に関する提言書」として意見がまとまりましたので平成28年10月28日に桐生市長に提言書を提出いたしました。提出した提言書については、桐生市ホームページから閲覧できます。



亀山市長に提言書を提出する委員

骨髄移植ドナー

久保田 裕一(市民の風)

質問 県では骨髄ドナー提供による経済的損失を軽減(桐生市保健福祉会館)



減するため、今年度からドナーへ助成を行う市町村に對して2分の1を補助する制度を導入し、入院及び通院に要した日数1日につき上限2万円、上限7日間支給することでドナー登録者の増加を図っているが、当市での今後の助成実施の可能性は。

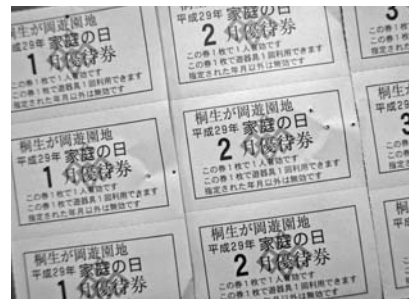
答弁 当市においては、県の動きに対応し、登録普及のために安心して提供できる環境づくりが必要と考えられることから、新年度での事業実施に向けて現在検討中である。

無料優待券の年度利用

周東 照二(公明クラブ)

質問 桐生が岡遊園地事業の無料優待券は、現在月単位であるが、それぞれ家族の状況もあり、月ごとに1人3枚使用できる月単位の利用は難しく、全体として利用率が低い状況である。市民の声を反映し、年間1人36枚の配布は継続しつつ、月3枚と月ごとに使用期限を区切るのをやめ、年間を通して使用できる年度単位に変更することを提案するが市の見解は。

答弁 利用率が低い状況を考えて改善する必要があると捉えているので来年度の桐生市青少年問題協議会で審議していきたい。(桐生が岡遊園地優待券)



委員会提出議案

桐生市議会基本条例の一部を改正する条例案を可決

災害時において、市民の生命、財産及び生活を守り、議会機能を維持するとともに、市長等を支援するため、議会における災害対応の組織の設置や行動基準等の根拠となる規定を定めるための条例案が合併及び地域政策調査特別委員会から提出され、審議の結果、可決されました。

議案番号・議案		議員氏名														結果									
		工藤英人	園基博	辻正男	田島忠一	渡辺恒久	関口直久	北川久人	人見武夫	新井達夫	岡部純朗	山之内肇	周東照二	伏木康雄	久保田裕一		佐藤光好	佐藤幸雄	森山享大	福島賢一	河原井始彦	周藤雅彦	小滝芳江	飯島英規	
市 長 提 出	議案第60号	桐生市地方活力向上地域における固定資産税の課税の特例に関する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第61号	一般職の職員の給与に関する条例及び桐生市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	原案可決
	議案第62号	特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
	議案第63号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
	議案第64号	桐生市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第65号	桐生市屋外広告物条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第66号	桐生市農業委員会の委員等の定数を定める条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第67号	指定管理者の指定について（桐生市南公園）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第68号	桐生市奨学資金貸与条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第69号	桐生市立学校設置条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第70号	桐生市新里町福祉作業所の設置及び管理に関する条例を廃止する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第71号	指定管理者の指定について（桐生市総合福祉センター）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
	議案第72号	指定管理者の指定について（桐生市立点字図書館）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
	議案第73号	平成28年度桐生市一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第74号	平成28年度桐生市学校給食共同調理場事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第75号	平成28年度桐生市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第76号	平成28年度桐生市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第77号	平成28年度桐生市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第78号	平成28年度桐生市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第79号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第80号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
議案第81号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	異議ない旨回答することに決定	
諮問第4号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	異議ない旨回答することに決定	
諮問第5号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	異議ない旨回答することに決定	
諮問第6号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	異議ない旨回答することに決定	
提出委員会	議第6号議案	桐生市議会基本条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
提出議員	議第7号議案	桐生市職員の綱紀肅正及び服務規律遵守を求める決議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	

主な議案

○桐生市地方活力向上地域における固定資産税の課税の特例に関する条例案

概要

本社機能を含む事務所等の特定業務施設を本市の地方活力向上地域内へ移転し、又は拡充する事業者に対して、税制面から支援を行うことにより、安定した良質な雇用創出を通じて地方へ新たな人の流れを生み出し、地域経済の活性化を図るため、固定資産税の課税の特例に関する条例を新たに制定するもの。

▽施行期日 公布の日

○桐生市屋外広告物条例案

概要

桐生市の地域性に応じた良好な景観の形成、風致の維持を誘導するとともに、公衆に対する危害を防止するため、屋外広告物法に基づき、広告物の表示及び掲出物件の設置並びにこれらの維持について必要な規制又は誘導を行うため、新たに条例を制定するもの。

▽施行期日

平成29年4月1日

○桐生市奨学金貸与条例の一部を改正する条例案

概要

就学意欲を持ちながら、経済的な理由により就学困難な者へ学資を貸与する制度として創設した桐生市奨学金貸与制度の一層の利便促進を図るため、連帯保証人の要件を緩和し、併せて返還金延滞利率の利率を見直すため、所要の改正を行うもの。

1 連帯保証人要件の緩和

奨学金貸与の申請に当たっては、従来は世帯主又は後見人のほか連帯保証人2人の署名が必要だったが、要件を緩和し、連帯保証人を1人とする。

2 返還金延滞利率の改正

年10・95%の返還金延滞利率について、国の制度で用いられている民法における債権や契約に関する私債権に準じて「遅延損害金」と改め、その利率を独立行政法人日本学生支援機構の奨学金の延滞利率と同様に民事法定利率の年5%とする。

▽施行期日

平成29年4月1日

請願の審査結果

この定例会では、請願1件の審査を行い、その結果、不採択となりました。

◎不採択となった請願

付託委員会	受理番号	件名
総務委員会	第8号	「所得税法第56条の廃止を求める意見書」の政府への送付を求める請願

人事案件

市議会は、次の人事案件7件に同意又は異議ない旨回答することに決定しました。

教育委員会委員

新居理恵氏 (新任)

固定資産評価審査委員会委員

押見新一郎氏 (再任)

石原照久氏 (再任)

人権擁護委員候補者

本間光雄氏 (再任)

窪寺藤枝氏 (再任)

桑原典子氏 (再任)

齋藤伸江氏 (再任)



一般会計の補正予算

○平成28年度桐生市一般会計補正予算 (第3号)

概要

歳入歳出予算について、歳入歳出それぞれ3億1,955万8,000円を増額補正して、予算総額を459億1,619万2,000円としたもの。

歳出予算の主な補正内容

- 総務費自治振興費
黒保根支所自治組織機能強化事業
.....1,400万円の追加
(自治組織機能強化事業補助金)
- 商工費商業振興費
空き店舗活用型新店舗開設・創業促進事業
.....632万4,000円の増額
(空き店舗活用型新店舗開設・創業促進事業補助金)
- 土木費地方道改修費
長尾根整備事業.....1,284万円の増額
(道路新設改良等工事費)
- 教育費体育施設費
スポーツ施設整備事業.....8,486万6,000円の増額
(市民体育館設計業務委託料)

市議会本会議を

傍聴してみませんか？

本会議は公開されており、議会傍聴受付で簡単な手続(住所、氏名の記入)をすれば、自由に傍聴できます。

傍聴席の定員は基本的に80人で傍聴希望者が定員を超えたときは、整理券を発行して混雑を避けています。

なお、常任委員会(総務、経済建設、教育民生の3委員会)についても傍聴できますが、スペースに限りがありますので、傍聴を希望される場合は、事前に議会事務局までお問い合わせください。

決

RESOLUTION

この定例会では、次の決議案が議員により提出され、審議の結果、原案のとおり可決されました。

議

桐生市職員の綱紀肅正及び服務規律遵守を求める決議

本市においては、度重なる職員の不祥事に対し、各所属において職場研修を実施するなど職員の綱紀肅正と服務規律の確保を目指してきたところである。しかし、本年に入っても不祥事が発生し、市民の信頼回復はおろか、むしろ市民に深い疑念と不信の念を抱かせる事態となっていることは、誠に遺憾である。

全ての公務員は、全体の奉仕者としての自覚に基づき、市民の負託に応える高い倫理観と使命感をもってその職にあたるべきところ、ごく僅かな者の身勝手な行いが、真面目に職務に精励する多くの職員に対する信頼をも著しく失墜させることになる。

議会としては、その都度、綱紀肅正と服務規律遵守を訴え、併せて、行政不信を払拭するよう求めてきたところである。

市長及び職員はこれまでの事件を厳粛に受け止め、このような事件の再発防止を図るとともに、常に全体の奉仕者として、自覚を更に高め、市民の模範となるよう、しっかりと服務規律を遵守すべきである。

よって、市長は職員の綱紀肅正及び服務規律の徹底を図り、市民の信頼を回復するための格段の努力をするよう強く求める。

以上、決議する。

平成 28 年 12 月 19 日 桐 生 市 議 会

お知らせ

◆次回定例会の開催予定は…

2月20日(月)です。

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部(要旨)を掲載しています。詳しくは、図書館で会議録をご覧ください。

なお、会議録は桐生市ホームページからでもご覧いただけます。

◆第20回桐生市議会報告会・意見交換会のお知らせ

日時 平成29年2月1日(水)
午後6時30分～午後7時40分

場所 中央公民館 ※申し込みは要りませんので、直接会場へお越しください。

桐生市議会では、開かれた議会の推進のために公式アカウントを設置し、桐生市議会情報を積極的に発信しています。



LINE



フェイスブック



ツイッター

再生紙を使用しています。

桐生市子ども会

子ども議会開催

平成28年10月22日(土)に本会議場で第16回子ども議会が開催されました。

市内の各小学校から選ばれた17人の児童が「『わたしたちが夢見る未来の桐生』」に対する自分の夢、願い、希望することを提案し、市政について様々な意見や提案を発表しました。



第16回子ども議会